

市原小学校 福祉学習 プログラム

日時 平成 27 年 1 月 4 日 (水曜日) 9 : 3 5 ~ 1 1 : 1 5

時間 45 分 × 2 回 (2 授業分)

場所 市原小学校 体育館

対象 小学校 6 年生 (1 8 名)

内容

目的 「思いやりの心を持ち、たくましく実践する子どもの育成ー地域に根ざした福祉体験活動」

1 限目 車椅子についての学習、車椅子に乗ってみよう、		
時間	内容	指導のポイント
3 分	先生のお話、職員紹介	
1 5 分	<p>質問 1 これは何ですか？教室（体育館）で車いすを子ども達にみせる。</p> <p>質問 2 押したことがある人はいますか？実際に乗ったことがある人はいますか？</p> <p>質問 3 車いすは、どんなときに使いますか？</p> <p>質問 4 車いすを利用する人は、おもにどのようなかたでしょう</p> <p>質問 5 足が不自由になった方は、なぜそうなったと思いますか？</p> <p>説明 大きな原因は 3 つ</p> <p>①お母さんのおなかにいるとき、お母さんが病気になる、その影響を受けたというもの</p> <p>②生まれた後に、びょうきになったりして、足が動かなくなってしまうというもの</p> <p>③交通事故などのように大きな事故にあっけし、足が動かなくなってしまう</p> <p>質問 6 車いすを使う人たちは、次のスポーツは出来るでしょうか？ マラソン バスケットボール</p> <p>説明 どちらもできます。マラソンは、トップクラスの人では 2 時間以内で走ります。バスケットボール専用の車いす、マラソン用の車いすがあります。その他にも、電動式車いすもあり、使う目的によって、いろいろな車いすがあります。</p> <p>質問 7 ここにある車いすは、標準車いすと呼ばれています。普通のいすとの違いは何ですか？ 3 つ以上ノートに書きましょう。実際に車いすをみても OK です</p>	<p>質問指示ですすめていく</p> <p>何らかの原因で不自由になってしまった。しかし、みんな望んでそうなったのではない、このような人たちも、わたしたちと何も変わらない同じ人なのです。ただ、私たちより不自由なことがあるだけなのです。困ったときに、私たちがちょっとお手伝いをすることで、私たちと同じ生活ができるのです。では、どのようなことが不自由なのか、そして、私たちはどうやってお手伝いをすれば良いのか、これから勉強していきます。</p> <p>足が不自由になっても 尊厳（プライド）というものがあります。それを傷つけない配慮が必要です。</p> <p>車いすの種類を紹介をする</p> <p>車いすの説明をする</p>

1、2限目 車椅子に乗って町にでよう、車椅子の介助の仕方を学び考えよう		
時間	内容	指導のポイント
30	<p>車いすに乗ってみよう</p> <p>まずはじめに、車いすの広げ方、たたみ方を練習します。その後、まっすぐはしります。4人（もしくは5人）一組で交替で乗ります</p> <p>次に正座をして座り、まっすぐのコースを走ります。</p> <p>障害物のコースを走ります。カラーコーンはジグザグに走ります。マットは、地面が柔らかい場所と考えます。ホースブリッジは坂のある場所です。どこからでもいいので交替の合図があるまで乗ります。正座が怖い人は、普通に乘ってもかまいません。</p>	<p>操作するのは一人です。ほかの人は危険なとき以外は、手を貸しません。</p> <p>全員終わったら ノートに感想を書きます。</p> <p>車いすに乗っていない3（4）人は、一人が車いすの後ろに立ち、2人は左右に立ち、一緒に歩いていきます。もしバランスを崩すようなことがあったら、みんなで支えてあげること</p> <p>全員終わったら ノートに感想を書きます。</p>
40分	<p>車いすの介助の仕方と 実際に外に出てみよう</p> <p>車いすに乗っている人のお手伝いの仕方を学習します。このようなお手伝いのことを介助といいます。声に出して試してみてください。</p> <p>車いすをうごかすときには、次のどちらがいいでしょうか？</p> <p>A 黙って車いすをうごかす</p> <p>B 出発してもいいですかと声をかけてから、車いすを動かす</p> <p>スロープや坂道をおりる時は どちらが優しい介助ですか？</p> <p>A 前向きでおりる</p> <p>B 後ろ向きでおりる</p> <p>プリントを配って（坂道（上り、下り）、段差の乗り降り）説明する</p> <p>道路での危険について</p> <p>グループで交替しながら、小学校の外に出て回ってみる。車いすに乗る人、介助する人、その他の人は危なくないようにサポート（声かけ、前をあるく）します。道があるく時は2列にならないようにする。（交替の合図を出したら交代する。）</p>	<p>黙って車いすを動かさせると、乗っている人はびっくりします。「出発してもいいですか」と声をかけてから、動かします。足が不自由な人の場合、黙って急に動かされると、転落してしまう可能性があります。優しく動かすことが大切です。また、乗っている人は、介助している人の姿が見えません。時々乗っている人に話しかけることも必要です。また、「車いすに乗っている人と、介助している人では、介助している人の方が目の位置が後ろにある。」ということも大切な視点です。</p> <p>一人で介助する場合、前向きにおりると車いすに乗っている人が、前に落ちる危険性があります。後ろ向きにおりる方が優しい場合があります。もちろん前向きにおりた方が優しい介助の場合もあります。その時に応じた方法が必要です。</p> <p>道路での一番の危険は？ 車 交通事故 横断歩道など停止する際は、車いすが車道に出ないようにするなど</p> <p>感想・気づいたことノートに書きます。</p>
5分	まとめ	マゼノ越えに向けて みんなで今日学んだことを活かして 実現してください。